ローズバーグ時報

ローズバーグ日本人収容所知事局
九月二二日火曜日発行
第二四号

本日の戦局一覧

(加) 加奈陀駆逐艦沈没
(露) ウヰルキーの消息
(英) マダガスカル危し
(米) 南太平洋戦雲濃厚

オタワA.P.発電は加奈陀駆逐艦オタワ號がUボートの爲撃沈されたと報じ艦長以下將官四名並に水兵百〇七名合計百十二名の行衛不明と發表した。マクドナルド海相は全滅だろうと暗示したとも傳ふ。モスカウU.P.はウヰルキー特使は英大使カア氏と協商中であるが未だスターリン首相と面會の機無きを傳へウヰルキー個人としてはセコンドフロント即時行動に贊意を洩らしたといふ。

倫敦U.P.はマダガスカル首府タナライヴ包囲近しと言ひ南阿鎮台プラット將軍の兵は首府城門に迫ったといふ。

華府U.P.はソロモン方面の日本艦隊來寇に備へ居るも日本軍は自重して敵に迫らずと傳へニューギニア方面ではマクアーサ空軍が日本軍基地空爆に專念してゐる。

厚生部より

○工作手藝品展覧會を開くについて

一、開催の時日 九月二十五日(金)午前九時より午后四時迄

二、出品者は二十四日(木)午后一時より四時迄の間に出品する事

三、全大工及各中隊各寮より一人宛選出の準備委員は二十四日(木)午前八時より十中隊社交室に集合し準備に着手する事

四、出品物は各中隊厚生部委員が夫々中隊よりの出品物を受付け責任を以て預る事

五、場所は既定の如く第十中隊社交室とす。

知事局より

○ゲート開く 第二第三大隊の間のゲートは本週中毎朝八時より九時までと水金の二日は午后六時より仝九時まで開けます。

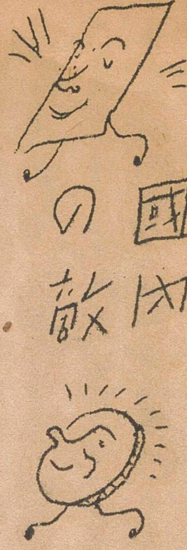
○門を出で、 去る十三日當キャンプより出所せるローサンゼルスの廣畑弘氏はワヨミン州ハートマウンテンの家族の所へ赴くにプルマンに乘りアルバカ、デンバーを經由し市内見物活動を観覧したりしたと。

セコンド、フロント問題

スクリップス、ホワード系新聞の外交記者ウイリアム、ヒリップ、シンムス氏は二十一日のエルパソ、ヘラルド、ポスト紙上に於てセコンド、フロント問題反對論を終止する行動の必要ありとし大要左の如く論ず。

華府二十一日発 セコンド、フロント問題を速に決定せずんば危險の爭議を起さん 英首相も多分此点を慮ってモスコー行きとなったであらうが失敗に了った、就いては華府に於てスターリン、ローズヴエルトの會見があるであらう。セコンドフロント問題が單に軍部内で纏まらぬといふならば其危險は少くなるがどうも政治問題が絡まってゐるやうである。紐育市長候補イスラエル、アムターは共産主義者であるが放送によってセコンド、フロント問題は政治問題である 單に少數軍人のみにて決すべき問題ではないといひ又米國に於ける共産黨の首領アール、ブローダーも亦同様の説を発表してゐる。とも見ればスターリンも其説ではあるまいか。元來スターリンは英米を全心を以て信用してゐるとは見えぬ、セコンドフロントの實行遲延はヒトラーを利するのみである

(完)



国内の敵

ヴァージニア州選出上院議員ハリー・エフ・ビルドはアメリカン・マガジンに国内の敵と題して政府の濫費を痛撃した。左は其大意である。

現在我が国民は戦時節約を念とするに拘はらず政府に於ては不急の事業に多額の金銭を浪費しておる。のみならず一團のものは失業者と其救済とに濫費すべき決意を抱いておる。又「カルチュアル」を口實として濫費し、甚しきはポークバーレルを保ち不急の貯水池、道路、建築物、運河、電力、水力を起し且つ政府の官吏増加を事としておる。

一例を擧ぐれば去る二月にウエストヴァーヂニア州のW.P.Aでは十二万三千七百四十七弗を投じて樂隊合唱隊オーケストラを組織することになり、其れは不急事業では無いかと言へば否な其れは戦時士氣を鼓舞することになる例へば之によりて自由公債を募集すると答へたので當局者は然らば十万弗では少くないとて四十万五千百〇七弗を消費することにした。

若し他州も之に準じて濫費するとならばW.P.A.の樂隊に対する費用實に二千六百万弗に上る。

元來全国青年行政部及公農務省の諸局課はデプレッションに対抗する為に設けられたものであるが今やデプレッションは形を潜めたるに拘はらず彼等をキープせよとの叫び絶えず彼等とは何ぞ畢竟弗と化して納税者のポケットを狙ふものではないか(未完)

○寄贈　先週來ビスマーク収容の同胞より當第三大隊各中隊へ羅府エキザミナー紙一部宛今後數ヶ月に亘りて寄贈さるゝこと、なり右は各中隊社交室に備付くること、なりました。

病院より

△退院者　青木茂(広島)　浜崎由松(山口)　水足安行(熊本)

△入院者　小泉源作(新潟)

▽今日から、昨日申し上げました方法によって御研究下さい

(一)近來めっきり涼しくなった(二)朝なんかは、寒くってウエターを着る位だ(三)が昨日の晩はどうしたものか、蚊がバカに澤山出た(四)その原因は誰も知らない(五)兎に角、昨夜は皆弱ってるやうだった(六)蚊に悩まされたといふのは始めてだったよ

(1)The weather has become exceedingly cool of late.(2) It is so cold in the mornings that we have to wear our sweaters.(3)We didn't know what was the matter with the mosquitoes, but we had lots of them last evening.(4) Nobody can tell what was the cause of it. (5)Anyway, everybody looked annoyed last night.(6)It was the first time that we were bothered by them.

第三大隊人名録(七)

第十二中隊　第三寮

和歌山縣、東由右衛門、奥地武四郎、漁野千代松、漁野無業丈、川崎甚助、竹原芳太郎、金鴨己之助、鎌谷利八、小畑村次、岩田榮次郎、垣下七松、大河内東二郎、坂井安平、藤内勘兵衛、新谷弥右門、土山義一、庄野菫次郎、

廣島縣、伊藤彦二、中野大舍人、谷田牧人、

佐賀縣、小池□郎、井上久次、

三重縣、讀口清七、米倉橋良、

福岡縣、石崎千松、吉村芳太郎、

熊本縣、平島均

愛媛縣、楠本秀太郎、

徳島縣、武田傳太郎、

神奈川縣、木並鹿一、

福島縣、宍戸長三、

北海道、淺間信、